

実施形態による遠隔授業の比較

	A 類型	B 類型	C 類型	D 類型	E 類型
	直接の対面授業	サテライト形式①	サテライト形式②	モバイル形式	オンデマンド配信
同時・双方向性	有	有	有	有	無
授業を履修する場所	大学内の教室（講義室、演習室等）等	授業を行う教室等以外の教室、研究室又はこれらに準ずる場所（大学関係施設の利用を想定）	B 類型のほか、企業の会議室等の職場や住居に近い場所	自宅や出張先のホテル等	大学内の自習室又は自宅等
想定される活用形態	専門職学位課程 科目等履修	専門職学位課程 科目等履修	科目等履修	専門職学位課程 科目等履修	授業前後の学修サポート （正規の授業としての実施例無）
授業手法	<ul style="list-style-type: none"> 学生の反応を見ながら授業を展開することが可能 必要に応じて教員に質問／学生への個別指導が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ○ A 類型と同様の効果を確保できる環境を整備するため、以下の事項に配慮することが望ましい。 ・ 教員と学生の映像・音声等によるやり取り ・ 学生の教員に対する質問の機会の確保 ・ 板書等の不都合を回避するためのプリント配付等の工夫 ・ システム管理のための補助員の配置／T A の配置 ・ 受講者が過度に多くならないようにすること 		<ul style="list-style-type: none"> ・ A 類型と同様の効果を確保できる環境を整備するため、B 類型・C 類型以外の特別な配慮事項が必要か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同時・双方向性を有していないため、A 類型と同様の効果を確保できる環境を整備することは困難。
対面による授業時間外の指導助言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業終了直後の質疑応答 ・ オフィスアワー等授業時間外における教員の対面による個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業後に一定時間通信を継続することで、質疑応答の実施が可能 ・ <u>大学関係施設で履修する場合には、教員配置を工夫することで対面による個別指導の可能性有</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業後に一定時間通信を継続することで、質疑応答の実施が可能 ・ <u>オンラインビデオ通話システム（skype 等）などの利用により、対面による個別指導実施の可能性有</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業後に一定時間通信を継続することで、質疑応答の実施が可能 ・ <u>オンラインビデオ通話システム（skype 等）などの利用により、対面による個別指導実施の可能性有</u> 	
対面によらない授業時間外の指導助言	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMS や電子メールの活用による、資料配付や課題提出、質疑応答が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMS や電子メールの活用による、資料配付や課題提出、質疑応答が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMS や電子メールの活用による、資料配付や課題提出、質疑応答が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMS や電子メールの活用による、資料配付や課題提出、質疑応答が可能 	
対面による学生間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生間の議論・交流等を通じて学習意欲の喚起や理解度向上に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学関係施設で履修する場合には、A 類型と同様の環境が確保されることになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>受講生が常時同じ場所に集まるとは限らないことから、A 類型と同様の環境を確保しにくいのではないか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>受講生が校舎等に通学せずに履修するため、A 類型と同様の環境を確保することは困難</u> 	
対面によらない学生間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMS や電子メール等の活用による、学生間の議論・交流が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMS や電子メール等の活用による、学生間の議論・交流が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMS や電子メール等の活用による、学生間の議論・交流が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMS や電子メール等の活用による、学生間の議論・交流が可能 	
自習室等の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該大学において自習室及び図書館等が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>大学関係施設で履修する場合には、当該大学の自習室及び図書館等の利用が考えられる。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>大学と同水準の自習室や図書館等の環境を整備することは困難</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>受講生が校舎等に通学せずに履修するため、大学と同水準の自習室や図書館等の環境を享受することは困難</u> 	
検討課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学間連携による学習環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「科目等履修」ではなく「専門職学位課程」の授業として利用する可能性について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業実施に必要な通信環境の確保 ・ 授業の実施にあたっての配慮事項 ・ 授業時間外における教員の指導 ・ 学生間交流や自学自修環境の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業前後の学習サポートとしての活用方策